

令和8年度 第1回磐田市スポーツ推進審議会 会議録

【日 時】 令和8年6月3日（水）午後3時から午後4時30分まで

【会 場】 磐田市役所本庁舎大会議室

【出席者】 12名

【欠席者】 2名

【事務局】 6名

【地域おこし協力隊】 1名

- 1 開会
- 2 新委員自己紹介
- 3 協議事項
 - ・令和8年度スポーツ推進事業計画について
- 4 ワークショップ
 - (1) スポーツ実施率の向上
 - (2) ウォーキングマップの活用方法

【会議録】

事務局

資料「令和8年度スポーツ推進事業計画について」

「令和8年度スポーツ推進事業補足資料」

「第2期磐田市スポーツ推進計画」に沿って説明

地域おこし協力隊

みなさんこんにちは。4月から地域おこし協力隊として磐田市のスポーツを盛り上げることができるよう活動しております。スポーツと音楽や福祉等を掛け合わせる事業を計画しております。みなさんも何か連携できるものがあればお声掛けください。

議長

事務局からの説明を踏まえて、御意見をお願いします。※特別御意見なし

10月18日に行われるいわたスポレク健康フェスティバルにおいて、スポーツ協会としてはウォーキングイベントを開催予定です。完成したウォーキングマップを参考にコースを検討しております。このウォーキングマップについてもこの後皆さんから御意見いただければと思います。

事務局

この後小グループに分かれていただき、2つのテーマについてお話してください。テーマ①は「スポーツ実施率の向上」、テーマ②は「ウォーキングマップの活用方法」とさせていただきます。こんな取組をすると実施率が上がるかな、どのように活用するとウォーキングを通じて市民の方が健康に生活できるか等をお話してください。

ワークショップ

- ・小グループに分かれてグループワークを実施。
- ・グループ内でテーマについて協議。

グループA代表者

昔に比べると子どもたちのスポーツをするという環境が少なくなっているのではないかという意見が出ました。部活動の地域移行がいよいよ始まっていますので、周知を確実にすることで選択肢が広がっていくのではないかと思います。

スポーツ実施率という点については、私自身がスポーツに取り組んできた人間ですので、スポーツをすることの良さを分かっているため今でもスポーツをしようという気持ちになりますが、スポーツに慣れ親しんでこなかった人たちにどうすればスポーツに取り組んでもらうことができるのかを考えていくことが必要ではないかという意見が出ました。

ウォーキングマップについてもすごく良いものができたと感じる一方で、ウォーキングが嫌いな人、興味のない人には手にとってもらえないのではないかと思います。そういった人たちが手にとってもらえるような施策が必要になってくるのではないのでしょうか。

スポーツと芸術、スポーツと音楽というような掛け合せがあると、スポーツに興味関心がない人にも参加してもらえないのではないのでしょうか。

グループB代表者

スポーツ実施率について主に話が及びました。学校現場では運動する機会が減ってきています。幼少期も同様です。運動した経験、さらには運動の成功体験をしていない子が増えてきてしまっていると感じています。そのような子は大人になった時にそもそも運動をしません。嫌いになってしまう人もいます。その人たちを運動するようにするのはそもそも難しさがあります。幼少期や小学生年代のころの運動経験、成功体験を一つ一つ積み上げていくことが大切です。それには長い年月がかかりますが、このような視点を持って子どもが運動をする場を設けていかなければなりません。

ただ子どもたちは体育の授業やクラブ活動等で一定の運動機会は担保されています。一方で大人の中には体は動かしているけど運動している認知ができていない方がいるので、まずは運動していると認識させてあげることが大切だと考えます。そうするとじゃあ次はこの運動を試みようかなと考えていくのではないのでしょうか。

さらに何か大人も参加したくなるようなイベントがあるとそこに向けて準備をしなきゃと運動に対する当事者意識が芽生えてきます。第2期スポーツ推進計画で掲げている2030年までのスポーツ実施率の目標、5年後という短いスパンでの目標達成にはつながってくるのではないかと考えています。

グループC代表者

スポーツ実施率の向上については今後運動する機会が減った子どもたちが大人になってくるとより低くなってしまわないかと危惧しています。やはり幼少期のスポーツに親しむ習慣づくりという点に着目してアプローチしていく必要があるかと思います。

ウォーキングマップの活用についてですが、運動意識のない人やハードルが高いと感じる人に対してはおいしいお店の紹介等ウォーキング+αの情報があると興味をもってもらえるのではないかという意見が出ました。そこから歩く、運動する習慣につながっていけ

ば良いのではないかと考えています。

議長

今の発表を受けて御意見やご質問がありましたらお願いします。

事務局

今年度より私たちの部署名が自治市民部からスポーツ文化観光部に変更がありました。発表を聞きながらはっとしたことがありました。これまでは私たちの部署だけでイベントを企画していました。他の部署との連携や掛け合せといった発想がそれほどなかったのも、同じ部の中で連携できるといいなと思いました。

議長

ウォーキングイベントの実体験についてグループ内での話を全体でもしてもらえないでしょうか。

委員

焼津に実家があるのですが、ナイトウォークというイベントに何度か小学校の時に家族で参加しておりました。私も弟も小さかったので歩くのに時間かかったこともあるのですが、夜中歩いて朝6時にゴールしていました。焼津は山から海も近いし国道もあり、リュックに食べ物や飲み物をたくさん入れてピクニックをするような感覚でわくわくしながら歩いていたことを覚えています。要所要所で休憩したり駄々をこねている子もいましたが、親子で非常に良い思い出になりましたので紹介させていただきます。

議長

学校現場の話も出ておりますが、スポーツ推進委員として学校に派遣されたときの子どもの様子はどうか。

委員

何年か前に小学校に派遣されたときの話です。キンボールを指導しました。指導者2人に対して手に負えないくらい的人数がいて、いきなりキンボールに取り組むことはできないのでまずは注意点ややり方の話をしましたが、なかなか話を聞ける子ばかりではありませんでした。そこで、1回しか言わないよ、絶対聞いてよと伝えるとみんなぴしっとなって話を聞いてくれました。

議長

強制というわけではないかもしれませんが、時にはしっかり伝えて指導する機会も必要ではないかと感じる時は私もあります。スポーツに苦手意識がある子に対してどのような動機付けが必要なのでしょう。

委員

苦手なこと得意な子が明確なのがスポーツです。得意な子は何もしていなくても取り組みますが、苦手な子はそうではありません。低いハードルからスモールステップで指導し

ていく必要があります。また、痛い、怖い思いをすると次がなくなるのでそこを排除しつつ楽しさを感じてもらえるようルールや環境を工夫し、モチベーションを上げていく必要があるかと思えます。

今の子どもたちの特徴としてサッカーは得意けどマット運動は苦手というような能力のアンバランスさがあります。小さなころからいろいろなスポーツ経験させることが大切であると感じており、スポーツの素地を身に着けさせる機会を磐田市として提供していただけると良いのかと考えます。

委員

小学校では水泳大会や陸上大会が廃止になり、課外活動がなくなって何年もたっており、明らかに子どもの運動量が目に見えて減っているのが学校現場の現状です。運動意識に差はあれど、小学校では体育は人気のある教科であり体育の授業の中で運動能力を伸ばしていかなければならないと思いつつも現実的に限りがあります。また、コロナ禍のあおりを受けて学校行事が見直され、特に運動会は半日開催の学校が多くあります。本校もかなり縮小されていましたが、先日の学校運営協議会で「いつまでこんなおもしろくない運動会をするのですか」と言われました。この発言について全職員で共有し、1日開催に戻そうかと思っております。着順を決めない、得点をつけない運動会も開催されていて、もちろんその価値もありますけど、競い合うことの楽しさを知らない子どもたちが増えているのも現状です。職員の働き方改革はもちろん尊重しつつ、子どものための教育の視点から考え直していきたいと思えます。

議長

相撲では必ず負ける子がいて、痛い思いをしている子がいます。相撲をするときに大切なことは礼に始まり礼に終わるということ、それから痛い思いをした経験がある子は相手が痛い思いをしていることが分かるということ。負けたり悔しい思いをしたりすることを味わうというのもスポーツをするには必要な時もあるのではないのでしょうか。

委員

中学生に上がった子の体育大会がこの前ありましたが、一人当たりの出場種目が減ってしまいました。時間も午後の部はすぐに終わりました。練習時間は少なく、リレーで走る距離も短くなっていました。体育大会があるにもかかわらず、運動をする意義を感じていないことを感じました。部活動の地域移行という点については理解しておりますが、校内での行事はやはり大切にしたいと感じました。行事に向かってみんなでがんばる、できない子もできる子も互いに励まし合いながら運動をするだけでなく雰囲気や運動を通して一つになる楽しさも味わってもらいたいと考えます。運動会や体育大会に参加する子どもたちはもちろん、見ている親にとってもやっぱり運動っていいよねと感じることができるようなものにしていただけたらと思えます。

地域おこし協力隊

サッカースクールも関わっていますが、愛情をもって子どもたちには接しています。その中で暴言や暴力はいけません、時には厳しさをもって接することも大切だと考えていますし、保護者の方にもしっかりと説明をしています。サッカー選手を引退し社会人になっ

てから5年たちますが、社会でも勝ち負けや厳しさはありますし、子どものころからそういったものを感じさせる経験も必要ではないかと考えています。

委員

スポーツ推進委員でウォーキングマップのコースを歩いてきました。約12名で歩きましたが、一年間かけて全10コースを歩く予定です。歩いた感想として、やはり何かあると嬉しいなと感じました。行って、駐車場に車を停めて、歩いて帰るだけでは達成感が薄いと感じました。スタートやゴールの表示もなかったのも、何か歩きたくなるような手立て、歩いた後の充実感や達成感を感じる手立てがあるといいなと思います。

議長

私もウォーキングをするのですが、毎回同じコースを歩いていると飽きが出てきます。自分の気の持ちようでなんとか続けていますが、動機付けになるような手立てを講じてもらえたらと思います。

事務局

次回第2回開催予定です。

みなさんからいただいた御意見を基に、今後の事業の参考にさせていただきたいと思えます。本日はありがとうございました。